

夏休みももうすぐ終わりです。今月は科学絵本をご紹介します。

『両生類のこと 自然スケッチ絵本館』

キャスリン・シル／文 ジョン・シル／絵 坂口 美佳子／訳

玉川大学出版部 2011年 1785円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園★★★ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

やわらかな皮膚でおおわれていて、水の中で暮らす時期と、地上で暮らす時期の両方がある生き物、両生類。

この絵本では、両生類がどんな生き物なのかを短い言葉でわかりやすく紹介してくれます。また、ページをめくるといろいろな両生類が色あざやかなきれいな絵で登場します。本の最後には、それらの両生類たちに関する詳しい説明もあります。

<子どもに手渡すときのポイント>

シンプルな言葉と、美しい細密画が特徴の絵本シリーズで、『げっ歯類のこと』『昆虫のこと』など現在12冊出版されています。幼児には難しい言葉も出てきますが、絵の美しさと文体の簡潔さで、興味のある子どもなら大人がわかりやすく解説してあげれば理解できると思います。また、巻末の解説には興味深い事柄がたくさん紹介してあるので、大きい子にはそこも紹介してあげると興味をさらに発展させていくことができるでしょう。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。



子ども図書館 重村 さやか